

「探究 6 段階岡山一宮 MODEL」を活用し、探究の過程を取り入れた授業実践記録

氏名		教科	芸術
実施日時	R6 10 月 18 日（金）2 校時	科目	書道 I
単元	漢字の書（創作・刻字）	授業タイトル	「用筆・運筆と線質の関係」
探究のポイント（課題設定や指導上の工夫、中心的な発問、活動への仕掛けなど）			
「強い線」「弱い線」を書いている時の生徒自らの姿を撮影し、その時の筆圧・速度・気持ちなどを確認する。 用筆・運筆の違いから生まれる、様々な書の表現性とその表現効果との関わりについて、理解を深めることができるよう働きかける。			

今回焦点を当てた段階にチェックしてください（複数回答あり）

- ☐ 01：テーマ・課題⇒仮説 ☒ 02：研究・検証計画 先行研究調査
☒ 03：実験・観察 調査・研究 ☒ 04：結果の処理・モデル化
☐ 05：考察・推論 ☐ 06：発表 論文作成

探究 6 段階	授業内容
0 2	刻字（創作）原稿作りにおける線質の工夫において 「用筆・運筆と線質の関係」について考える
0 3	「強い線」「弱い線」を書く【ペアワーク】 互いに書いている時の筆使いを録画する【ICT 活用】 録画してもらった自分の筆使いを観察し、気づいたことをメモする【個人】 ・「強い線」を書いている時の筆使いはどのような様子だったか？ ・「弱い線」を書いている時の筆使いはどのような様子だったか？ ・筆圧・スピード・感情など・・・何か気がついたことはあったか？ 気づいたことを共有する【グループワーク】 ・他者の感じ方と自分の感じ方の共通点や相違点を知る。 
0 4	それぞれの気づきを、創作作品（刻字原稿作り）に生かす ・自らの意図やねらいに合った表現はどのようなものか考え、試書する。